

諸外国の学習成果・職業能力の認証・評価制度

諸外国は、若年・中高年無業者の増加等の社会背景や、グローバル化の進展に伴う労働市場の流動化などへの対応として、職業資格の認証・評価制度を創設。

	米国	EU	英国	オーストラリア	韓国
制度	National Skill Standard (NSS:全国職業技能スタンダード)	European Qualification Framework (EQF:欧州共通資格枠組み)	Qualification and Credit Framework (QCF:単位資格枠組み)	Australian Qualification Frameworks (全国統一資格基準)	National Competency Standards (国家職務能力標準)
概要	<p>職業技能スタンダードの開発及び利用を自主的パートナーシップ(雇用主団体、組合労働者、政府、従業員団体、教育訓練機関等から成る産業連合)が実施してきたが、現在、同制度を推進する全国スキルスタンダード機構は、ほとんど活動を行っていない。</p> <p>なお、公的な職業資格や免許の種類や管理体制は州によって異なり、州が定めた枠組みや基準に沿って、各分野の職業団体が資格や免許を取得するための要件を設定。</p>	<p>欧州各国の資格制度を共通の枠組みで関連づける仕組み。欧州委員会が策定。</p> <p>義務教育修了レベルから博士号取得レベルまでの8つの資格参照レベルを設定し、各レベルは「知識」「スキル」「コンピテンス」から構成されている。</p> <p>EU加盟各国は、それぞれの国内の資格枠組み(NQF)を2012年までにEQFに参照づけることが推奨されている。</p>	<p>一般教育と職業教育、技能資格を結合した総合的資格制度。</p> <p>産業別技能委員会(SSC)が設定した職務基準に基づき、資格授与機関(AO)が資格構造と評価システム等を構成し、政府機関の資格・試験監査機関(Ofqual)の認可を受ける。</p> <p>従来の「全国資格枠組み(NQF)」に、「ユニット」「単位」という概念を組み込むことで学習量の比較を容易にするとともに、「ユニット」による学習の積み上げを可能にし、資格取得の機会の拡大、流通性の向上などを図る。</p>	<p>中学から大学院まで、職業教育と普通教育の両方を含む共通資格を付与する全国的資格認定制度。</p> <p>業界団体であるISC※1が訓練パッケージを策定し、政府機関NSSC※2がパッケージを認証する。</p> <p>※1 Industry Skills Council ※2 National Skills Standards Council</p>	<p>企業が必要とする人材の知識や技術、素養などについて、産業分野別・水準別に体系化したもの。教育訓練課程の開発・運営や資格種目の開発などに用いられる。NCSの開発は、分野別に雇用労働部や政府関連部署、関連企業団体によって行われる。</p> <p>現在、NCSに基づく各種職業資格と学歴とを対応させる韓国資格枠組み(KQF)の開発が職業能力開発院によって進められている。</p>

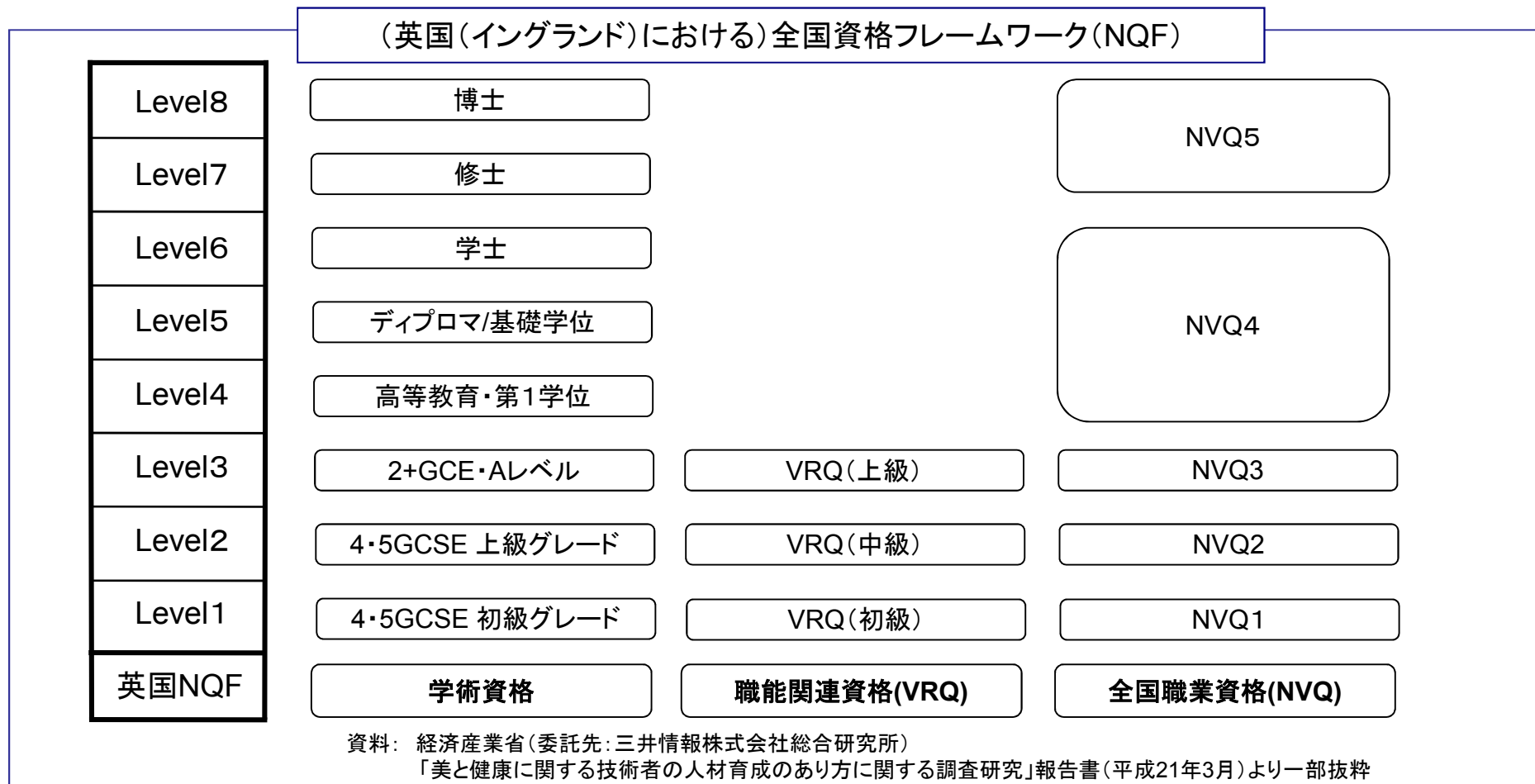
文部科学省「諸外国の生涯学習」、三菱総合研究所「生涯学習施策に関する調査研究」、労働政策研究・研修機構「諸外国における能力評価制度」等を基に作成

(参考) 国際的な議論の動向

- 近年、職業教育・訓練に関する国際会議等の場では、資格枠組み(Qualification Framework)が度々議題として取り上げられている。
- ・2012年2月 アジア欧州会合(ASEM)「職業教育訓練シンポジウム」
 - ・2012年3月 東アジアサミット(EAS)「技術・職業教育と訓練における質保証枠組み作成プロジェクト」

イギリス(イングランド)における職業資格と学位等の資格枠組み(2002. 9~)

学術資格と職業資格の峻別が、社会的に負の結果をもたらしているという報告書※1が1997年に出され、これに応じて政府は新しい資格フレームワークの整備を進めてきた。イングランドでは1997年にQCAが設立され、「全国資格フレームワーク(National Qualifications Framework: NQF)」を整備(「イギリスにおける地域人材の育成と認証システム」 小山善彦(2004)より一部抜粋) ※1 Report of the National Committee of Inquiry into Higher Education, July 1997(Dearing Report)



用語注:

GCSE: General Certificate of Secondary Education(中学校修了一般資格: 16歳に受験するのが一般的)

GCE: General Certificate of Education(大学入学資格: 18歳に受験するのが一般的)

NQF: National Qualifications Framework NVQ: National Vocational Qualifications QCA: Qualifications and Curriculum Authority

VRQ: Vocation-Related Qualifications。もしくは、GNVQ: General National Vocational Qualification(一般全国職業資格)とも呼ばれる。

イギリス(イングランド)における新しい資格枠組み(QCF)について

全国資格フレームワーク(NQF)及び全国職業資格(NVQ)は、2008年からの「資格単位枠組み(QCF)」の本格実施に向けた移行作業が行われている。QCF導入により、学習者にとっては、学習方法等に関する選択の幅が広がり、それぞれのペースで、様々な媒体から、それぞれに合致した方法で資格を得ることが可能となる事が期待されている。QCFは、2010年2月に、欧州資格枠組み(EQF)※への参照手続きが終了した。

※欧州各国の各資格がどのレベルにあり、当該資格保有者がどのような知識等を有しているか比較可能とするための枠組み。EUはEU加盟各国に、それぞれの国内の資格枠組み(NQF)を2012年末までにEQFへ関係づける(「参照」(referencing))ことを推奨している。

Qualifications and Credit Framework(QCF)の特徴

- ・すべての資格は「レベル(難しさ)」と「学習量(単位数)」によって定められている(表1)。
- ・すべての資格は、「ユニット」で構成されている(表2)。また、すべてのユニットは、必要な単位数を定めている。
- ・すべての資格は、単位数に応じて、3種類のタイプに分類されている。(表3)。

表1. Qualifications and Credit Framework(QCF)の構成

レベル ↑	レベル	Award(1-12)	Certificate(13-36)	Diploma(37以上)
	8			
	7			
	6			
	5			
	4			
	3			
	2			
	1			
	基礎			
→ 学習量(単位数)				

表2. ユニットに表示されるべき内容

表示項目	内容
タイトル	ユニットの内容を正確に示す記述
レベル	ユニットによって達成される学習アウトカムのレベルの設定。QCF共通基準(9レベル)を参考に決定。なお、このレベルはユニットに帰属するもので、資格全体のレベルとは関係がない。
単位数	ユニット履修者に与えられる単位数。1単位は10時間の学習時間が基準。
学習アウトカム	学習者が習得すべき知識、理解度、能力(できること)の記述。
評価基準	学習アウトカムを達成していることを証明するために、学習者が満たすべき基準の設定。ただし、具体的なアセスメントの方法やツールについての記述は含めない。

表3. 資格タイプの3分類

※1単位あたりの学習量は10時間

資格タイプ	単位数	資格の特色と用途
Award	1-12	最小サイズの資格で、通常は1つのユニットだけで構成される。初めて資格を取得する人や、職業分野への入門者に適したタイプ。あるいは、職業訓練において、1つのユニットだけの内容を学習させたい場合などに適している。
Certificate	13-36	中サイズの資格で、3ユニット程度で構成される。職場の仕事でコアとなる複数テーマについて学習するのに最適サイズの資格。
Diploma	37以上	もっとも大きなサイズの資格で、通常は必須ユニットと選択ユニットで構成される。キャリアで必要となる多様なテーマについて総合的に学ぶのに適した資格。

(例)

- ・3単位のユニットであれば、平均30時間の学習を必要とするユニットである、ということを示している。
- ・レベル5の資格が10ユニットを持ち、その単位数の合計が32単位であれば、学習者はレベル5の「Certificate」という称号を平均320時間の学習によって得ることになる。

資料: 小山善彦

「イギリスの資格履修制度-資格を通しての公共人材育成-」(2009) より抜粋